

FavorPrep™ GEL Purification Mini Kit

Cat: FAGPK 000 (4 回分) / FAGPK 001 (50 回分) / FAGPK 001-1 (200 回分) / FAGPK 001-2 (300 回分)

本製品は研究用です

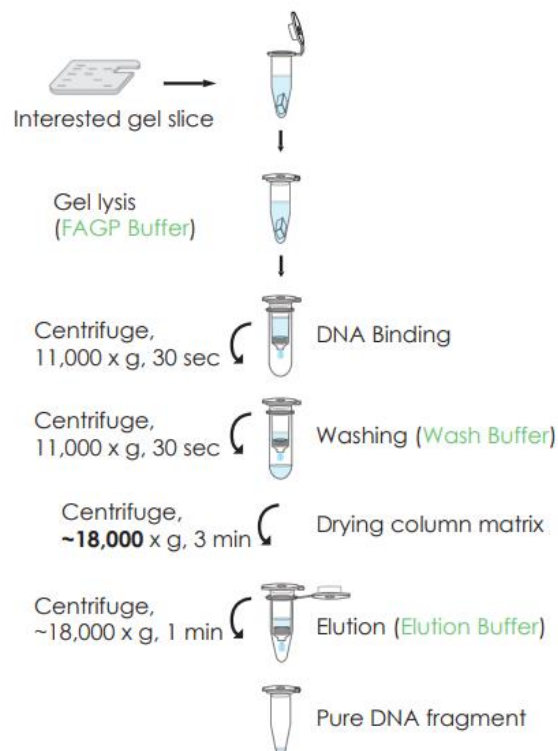
v 221021

🌈 キットの内容

	FAGPK 000 (4 preps_sample)	FAGPK 001 (50 preps)	FAGPK 001-1 (200 preps)	FAGPK 001-2 (300 preps)
FAGP Buffer	3 ml	50 ml	200 ml	300ml
Wash Buffer (concentrated)*	1 ml	15 ml	45 ml	50ml × 2
Elution Buffer	0.5 ml	5 ml	20 ml	20ml
FAGP Column Set	4 pcs	50 pcs	200 pcs	300pcs
Collection Tube	4 pcs	50 pcs	200 pcs	300pcs
Elution Tube	4 pcs	50 pcs	200 pcs	300pcs
*添加する 96-100%エタノール量				
Wash Buffer (concentrated)	4 ml	60 ml	180 ml	200ml

🌈 基本情報

構成	スピнкаラム (シリカメンブレン)
結合量	20 μ g
サンプル量	最大 200 mg (アガロースゲル)
DNA サイズ	65 bp~10 kbp
回収率	70~85% (アガロースゲル)
操作時間	≤25 分
溶出量	40 μ l



重要事項

- 1) 本製品を使用する際は、白衣とゴム手袋を着用してください。
- 2) Wash Buffer にエタノール (96-100%) を加えてください。
- 3) ゲルの余分な部分を切り落とし、最大 200 mg に調整してください。
- 4) 遠心分離は、11,000~18,000 × gで行ってください。

操作 ※操作前に「重要事項」をよくお読みください。

ヒント:ドライバス または ウォーターバスを 55°Cに設定してください。(ステップ 4 で使用)

1. 目的の DNA を含んだゲルの部分を切り出します。
* サンプルのゲルの量を最小限にするため、余分なゲルを取り除いてください。
2. 最大 200 mg のゲルをチューブ (お客様でご用意ください) に移します。
* サンプル量は最大 200 mg です。
3. サンプルの 3 倍量の FAGP Buffer を加え、ボルテックスで混和します。
例) 100 mg のサンプルに 300 μl の FAGP Buffer を加える。
* >2%のアガロースゲルの場合は、サンプルの 6 倍量の FAGP Buffer を加えてください。
4. ゲルが完全に溶解するまで、55°Cで 5~10 分間インキュベートします。インキュベート中は 2~3 分毎にチューブをボルテックスしてください。
* ボルテックスを行うことで、ゲルの溶解を促進できます。
* ゲルが完全に溶解しているのを確認してから次のステップへ進んでください。
* アガロースゲルが溶解した後、サンプル溶液が黄色になっていることを確認してください。紫色の場合は 10 μl の 3M 酢酸ナトリウム (pH 5.0) を加えて、サンプル溶液が黄色になるまで十分に混和してください。
5. サンプル溶液を室温になるまで冷まします。FAGP Column を Collection Tube へ取り付けます。
6. 750 μl のサンプル混合物を FAGP Column へ加えます。11,000 × g で 30 秒間遠心分離し、ろ液を捨てます。
* サンプル溶液が 750 μl 以上の場合は、全て処理するまでこの操作を繰り返してください。
7. 750 μl の Wash Buffer (エタノール添加) を FAGP Column に加えます。11,000 × g で 30 秒間遠心分離し、ろ液を捨てます。
* Wash Buffer は開封時にエタノール (96-100%) が添加されていることを確認してください。
8. さらに最大速度 (~18,000 × g) で 3 分遠心分離し、FAGP Column を乾燥させます。
重要ステップ! : この操作は酵素処理を阻害する物質を取り除くために必要です。

9. FAGP Column を Elution Tube (キットに付属) へ取り付けます。
10. 40 μ l の Elution Buffer または ddH₂O を FAGP Column の膜中央へ加え、1 分間静置します。
重要ステップ! : 効率よく溶出させるため、Elution Buffer が完全に吸着したことを確認してください。
重要: 40 μ l 以下で溶出しないでください。収量が減少します。
11. 最大速度 (~18,000 \times g) で 1 分間遠心分離し、DNA を溶出します。

🔧 トラブルシューティング

トラブル	考えられる原因	解法
ゲルが溶解しにくい	アガロースゲルの濃度が濃い (2%以上)	サンプルに対して 6 倍量の FAGP Buffer を加えてください。
	ゲルの量が多い	200 mg 以上処理する場合は、複数のチューブに分けて処理してください。
低収量	ゲルの量が多すぎてカラムに詰まっている	1 つのカラムで処理できるサンプル量は、最大 200 mg です。
	溶出ステップに不備がある	Elution Buffer もしくは ddH ₂ O の pH が 7.0-8.5 であることを確認してください。 Elution Buffer を FAGP Column の膜中央へ加え、完全に吸着させてください。
	DNA サイズが 5 kb 以上の場合	Elution Buffer を 60°C に温めてから使用してください。
溶出した DNA が non-specific DNA 断片を含む	切り出し用のメスの汚染	新しいメスを使用してください。
	DNA 断片が変性している	溶出した DNA を 95°C で 2 分間インキュベートし、徐冷します。
精製した DNA がその後のアプリケーションで良い結果を出さない	塩が残留している	洗浄ステップを 2 度行ってください。
	エタノールが残留している	洗浄ステップの後、FAGP Column を 3 分間遠心分離し、乾燥させてください。